



平成 22 年 9 月 24 日

各 位

会 社 名 JVC・ケンウッド・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 兼 社長 兼 CEO 河原 春郎
(コード番号 6632 東証第一部)
問合せ先 取締役 兼 CFO 不破 久温
(TEL 045-444-5232)

当社子会社のビクターアークス株式会社とヒビノ株式会社との 戦略的提携を目的としたビクターアークス株式の一部譲渡に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 8 月 18 日付「当社子会社のビクターアークス株式会社とヒビノ株式会社の戦略的提携に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、当社グループおよびヒビノ株式会社（以下「ヒビノ」という。）との間の戦略的提携（以下「本戦略的提携」という。）を目的として、当社の子会社である J&K ビジネスソリューション株式会社（以下「J&K ビジネスソリューション」という。）の子会社で業務用音響・映像機器の販売・施工を手がけるビクターアークス株式会社（以下「ビクターアークス」という。）の発行済株式総数の 35% に相当する株式をヒビノに譲渡すること（以下「本株式譲渡」という。）に関して、ヒビノと本株式譲渡に関する正式契約の締結に向けた協議を進めてまいりましたが、本日付で J&K ビジネスソリューションとヒビノとの間で株式譲渡契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本戦略的提携の理由

平成 22 年 8 月 18 日付「当社子会社のビクターアークス株式会社とヒビノ株式会社の戦略的提携に関するお知らせ」に記載のとおり、当社グループでは、平成 25 年 3 月期を最終年度とする中期経営計画において、当社グループの強みを発揮できるカーエレクトロニクス事業と業務用システム事業に集中することにより、収益ある成長を実現し、日本の AV 専門メーカーとしての新たなポジションを確立することを目指しております。

業務用システム事業においては、当社の子会社である株式会社ケンウッドの業務用無線機器分野および日本ビクター株式会社（以下「ビクター」という。）のビジネス・ソリューション分野の統合運営による事業拡大・強化に取り組むほか、ビジネス・ソリューション分野では、他社との協業・アライアンスによる事業拡充や、個別ハードウェアビジネスから商品、コンテンツ、サービスを融合したソリューションビジネスへのシフトを事業戦略に掲げております。

本戦略的提携は、こうした当社グループの成長戦略の一環であり、新たな事業パートナーとなるヒビノからの資本参加を得て、業務用システム事業の発展と企業価値の向上をはかることを目的としたものです。

本戦略的提携に基づき、音と映像のトータル・ソリューション企業であるヒビノグループと音と映像の専門メーカーである当社グループは、音響システムおよび映像システム分野（デジタルサイネージ、LED ディスプレイシステム、3D 関連商品、4K プロジェクターなど）を中心に、両社グループの関連技術・商品を活かした総合的かつ戦略的な提携を模索し、双方における相乗効果を追求してまいります。

これにより、当社グループにおいては、ビジネス・ソリューション分野における事業拡充を推進するとともに、ソリューションビジネスへのシフトを促進することができ、業務用システム事業の収益拡大、ひいては当社グループ全体の利益ある成長と企業価値の向上につながるものと期待できます。

以上により、本戦略的提携を目的として、J&K ビジネスソリューションが保有するビクターアークスの発行済株式総数（70,000 株）の 35% に相当する株式（24,500 株）をヒビノに対して譲渡することに関して、本日付で J&K ビジネスソリューションとヒビノとの間で株式譲渡契約を締結いたしました。また、本戦略的提携の実効性を高めるため、ヒビノはビクターアークスの取締役を 2 名選任することができる旨を、当社グループとヒビノとの間で合意いたしました。

当社グループは、本戦略的提携を皮切りに連結ベースで成長戦略を加速させることにより、ビジネス・ソリューション分野における音響システムおよび映像システム分野を中心とした国内事業の売上約 230 億円（平成 22 年 3 月期実績）を、平成 25 年 3 月期には約 300 億円（30%増）に拡大することを目指し、利益ある成長を追求してまいります。

*具体的な効果

当社グループにおけるビジネス・ソリューション分野の子会社であるビクターアークスは、特定建設業許可業者として、長年にわたって業務用音響・映像機器のシステム設計・施工を手がけており、全国の劇場、ホール、ミュージアム、多目的施設などへの豊富な納入実績があります。

ヒビノは、音と映像を機軸としたプロ用 AV&IT のトータル・ソリューション企業として、音響機器販売事業では、世界中から選りすぐったプロ用音響機器を多数取り揃えており、放送局やスタジオ、ホール、劇場、シアター、ライブハウス、SR（Sound Reinforcement：舞台音響）などへの豊富な納入実績があります。

本戦略的提携に基づき、ハイエンド業務用音響機器の輸入販売に実績のあるヒビノとハイエンド業務用音響機器を使用した音響システムのソリューション・施工を主要事業とするビクターアークスが手を組むことにより、音響システムの事業拡充に向けた相乗効果が得られ、ビクターアークスにおいては、ヒビノから安定的かつタイムリーにお客様のニーズに合った音響システムの供給を受け、商材からシステム設計、施工、保守まで一貫したソリューションを提供できる体制を構築・強化してまいります。

さらに、屋外やホールなどで採用される 3D LED ディスプレイシステムをはじめ、デジタルサイネージ、LED ディスプレイシステム、3D 関連商品、4K プロジェクターなどの映像システム分野において、両社グループが持つソリューションの供給実績、ノウハウ、関連技術・商品を活かした提携を推進し、相乗効果を追求してまいります。

2. 当該子会社（ビクターアークス）の概要（平成 22 年 3 月 31 日現在）

| | | |
|-----------------------------|------------------------------------|--|
| (1) 名称 | ビクターアークス株式会社 | |
| (2) 所在地 | 東京都港区海岸三丁目 9 番 15 号 LOOP-X ビル 12 階 | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 鮫島 洋 | |
| (4) 事業内容 | 業務用音響・映像機器の販売および施工 | |
| (5) 資本金 | 3,500 万円 | |
| (6) 設立年月日 | 昭和 35 年 3 月 19 日 | |
| (7) 大株主および持株比率 | 株主名 | 持株比率 |
| | J&K ビジネスソリューション株式会社 | 94.26% |
| | 株式会社三社電機製作所 | 5.71% |
| | 個人 | 0.03% |
| (8) 当社との関係 | 資本関係 | 当社の子会社である J&K ビジネスソリューションを通じ、議決権の 94.26%を間接所有しております。 |
| | 人的関係 | 当社の子会社であるビクターから取締役 1 名および監査役 1 名を派遣しております。 |
| | 取引関係 | 当社の子会社であるビクターから業務用音響・映像機器を仕入れております。 |
| | 関連当事者への該当状況 | 当社の連結子会社です。 |
| (9) 当該会社の最近事業年度の経営成績および財政状態 | | |
| | 平成 21 年 3 月期 | 平成 22 年 3 月期 |
| 純資産 | 460 百万円 | 602 百万円 |
| 総資産 | 1,420 百万円 | 1,594 百万円 |
| 一株当たり純資産 | 6,578.07 円 | 8,593.07 円 |
| 売上高 | 2,639 百万円 | 2,579 百万円 |
| 営業利益 | 170 百万円 | 229 百万円 |
| 経常利益 | 171 百万円 | 232 百万円 |

| | | |
|------------|------------|------------|
| 当期純利益 | 173 百万円 | 147 百万円 |
| 一株当たり当期純利益 | 2,477.57 円 | 2,104.62 円 |
| 一株当たり配当金 | 100 円 | 1,575 円 |

3. 本株式譲渡の相手先の概要 (平成 22 年 3 月 31 日現在)

| | | |
|---------------------------------|---|---|
| (1) 名称 | ヒビノ株式会社 | |
| (2) 所在地 | 東京都港区港南三丁目 5 番 14 号 | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 日比野 晃久 | |
| (4) 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・業務用音響機器および業務用映像機器の販売、システム設計・施工・メンテナンス業務 ・映像ディスプレイおよび周辺機器の開発・製造・販売業務 ・コンサートおよびイベント用音響システムおよび映像システムの企画立案、機器の貸出、オペレート業務 ・コンサートおよびイベントの録音、中継、トラックダウン、オーサリング業務 | |
| (5) 資本金 | 17 億 2,148 万円 | |
| (6) 設立年月日 | 昭和 39 年 11 月 13 日 | |
| (7) 大株主および持株比率 | 株主名 | 持株比率 |
| | 日比野 晃久 | 18.70% |
| | 日比野 宏明 | 9.96% |
| | 有限会社ハイビーノ | 8.98% |
| | ヒビノ株式会社 | 6.08% |
| | ヒビノ従業員持株会 | 5.10% |
| | エイチエスビーシー ファンド サービスィズ スパークス アセット ト マネジメント コーポレイテッド | 2.54% |
| | 日本生命保険相互会社 | 1.87% |
| | 日比野 純子 | 1.80% |
| | 株式会社みずほ銀行 | 1.80% |
| | 株式会社三菱東京 UFJ 銀行 | 1.80% |
| | 野村ホールディングス株式会社 | 1.80% |
| (8) 当社との関係 | 資本関係 | 当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者および関係会社と当該会社の関係者および関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。 |
| | 人的関係 | 当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者および関係会社と当該会社の関係者および関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。 |
| | 取引関係 | ビクターアークスと当該会社との間では取引関係がありますが、当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者および関係会社と当該会社の関係者および関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。 |
| | 関連当事者への該当状況 | 当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者および関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。 |
| (9) 当該会社の最近事業年度の連結経営成績および連結財政状態 | 平成 21 年 3 月期 | 平成 22 年 3 月期 |
| 連結純資産 | 5,654 百万円 | 5,010 百万円 |
| 連結総資産 | 15,467 百万円 | 14,792 百万円 |

| | | |
|--------------|------------|------------|
| 一株当たり連結純資産 | 1,037.98 円 | 951.50 円 |
| 連結売上高 | 17,727 百万円 | 14,207 百万円 |
| 連結営業利益 | 530 百万円 | △543 百万円 |
| 連結経常利益 | 631 百万円 | △636 百万円 |
| 連結当期純利益 | 220 百万円 | △375 百万円 |
| 一株当たり連結当期純利益 | 40.58 円 | △70.70 円 |
| 一株当たり配当金 | 30.00 円 | 20.00 円 |

4. 譲渡株式数、譲渡価額および譲渡前後の所有株式の状況

| | | | |
|---------------|----------|------------------|---------------|
| (1) 異動前の所有株式数 | 65,980 株 | (議決権の数：65,980 個) | (所有割合：94.26%) |
| (2) 譲渡株式数 | 24,500 株 | (議決権の数：24,500 個) | |
| (3) 異動後の所有株式数 | 41,480 株 | (議決権の数：41,480 個) | (所有割合：59.26%) |

※譲渡価額はヒビノとの守秘義務に基づき公表いたしません。

5. 日程

| | |
|--------------|-----------------------|
| (1) 株式譲渡契約締結 | 平成 22 年 9 月 24 日 |
| (2) 株式譲渡期日 | 平成 22 年 10 月 1 日 (予定) |

6. 今後の見通し

本株式譲渡にともなう当期の当社業績への影響は軽微ですが、中長期的には本戦略的提携によるビクターアークスの発展が当社グループの業務用システム事業の収益拡大、ひいては当社グループの利益ある成長に寄与するものと期待しております。

なお、本株式譲渡により、ビクターアークスはヒビノの持分法適用関連会社となりますが、当社グループの連結子会社としての位置付けに変更はありません。

以 上